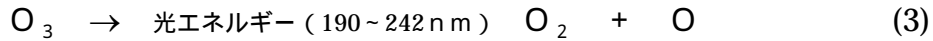
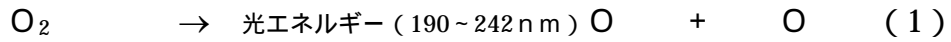
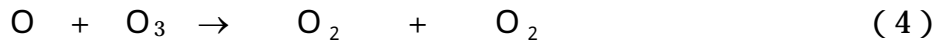


成層圏オゾン

O_2 分子は地球大気に入射する太陽光中の190~242nmの紫外線によって分解し、二個の酸素原子になり、次の反応を行う。



又は



反応(1) - (2)の生成反応と(3) - (4)の消滅反応の速度差によって O_3 の濃度が決まるが、一般に地表から約10~50Kmの大気中でオゾン(O_3)濃度が著しく高くなる。この領域をオゾン層又は成層圏オゾンと呼ぶ。生物に有害な紫外線が反応(3)によって成層圏オゾンで吸収され、人体に有害な紫外線の約90%ここで遮断されて地表に到達しなくなるため地表での生物の生存が可能になるといわれている。

(古澤)